

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月26日(2013.9.26)

【公開番号】特開2013-59631(P2013-59631A)

【公開日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-016

【出願番号】特願2012-238432(P2012-238432)

【国際特許分類】

A 6 1 L 9/01 (2006.01)

A 6 1 L 9/04 (2006.01)

A 6 1 L 9/12 (2006.01)

C 1 1 B 9/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 9/01 R

A 6 1 L 9/04

A 6 1 L 9/12

A 6 1 L 9/01 Y

C 1 1 B 9/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月29日(2013.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

芳香液を吸上げて容器の外部に揮散させるための吸上揮散部材を備えている容器に、香料及び界面活性剤を含有する芳香液が収容されてなる芳香剤であって、
上記界面活性剤が、ポリオキシエチレン硬化ひまし油エーテル及びポリオキシアルキレンデシルエーテルからなる群から選択される少なくとも 1 つの非イオン性界面活性剤を含有し、

上記芳香液が、香料 1 重量部当たり界面活性剤を 0.4 ~ 1 重量部の比率で含有し、且つ透明であることを特徴とする芳香剤。

【請求項 2】

上記芳香液がナノエマルジョン形態である、請求項 1 に記載の芳香剤。

【請求項 3】

下記第 1 及び 2 工程を経て製造される、請求項 1 または 2 に記載の芳香剤：

香料 1 重量当たり界面活性剤が 0.4 ~ 1 重量部の比率を満たし、且つ香料と界面活性剤の合計量 100 重量部当たり水性溶媒が 100 ~ 600 重量部となる比率を充足するように、香料、界面活性剤、及び水性溶媒を混合することにより、香料濃縮液を調製する第 1 工程、及び

第 1 工程で得られた香料濃縮液に対して更に水性溶媒を混合することにより、芳香液を調製する第 2 工程。

【請求項 4】

前記第 2 工程で得られた芳香液を、更に超音波処理及び / 又は高圧乳化処理に供することにより製造される、請求項 3 に記載の芳香剤。

【請求項 5】

上記芳香液中の界面活性剤の濃度が 0 . 4 ~ 3 重量 % である、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の芳香剤。